

2021 年度 事業実績報告書

実施時期（2021 年 7 月 1 日～2022 年 6 月 30 日）

一般社団法人ゆずり葉

NO	部門	事業内容
1	未来パッチワーク事業	<p>■ 主催事業、講演会等</p> <p>◆ 「対話の本質とは」保井俊之先生との対話会（参加者10名） 2021年10月28日@ホテル本陣</p> <p>モーニングセミナーと称して8時スタートで開催。前半、対話についての座学と、後半で実際に庭での対話会を実施。普段話せないことを言葉にして、涙する方も。違う価値観の人とどのように繋がり、分かり合えるのか、ジャッジをせずに聴く力。対話から大きなヒントを得た体験会だった。女性のリーダーから定期的な対話会を求める声もあり、対話の場づくりの重要性も再認識した。</p>  <p>◆ スモール&ソーシャルビジネス ラウンドテーブル@ホテル本陣（参加者25名）</p> <p>① 第1回 10月20日 実施</p> <p>（特別ゲスト：江上広行さん／価値を大切にする金融実践者の会 代表理事、新田信行さん／元第一勧業信用組合 理事長、木村真樹さん）</p> <p>第一部 新しい価値を地域で生み出すには</p> <p>第二部 組織課題解決ワークショップ（NPO法人ひなたぼっこ・牛深）</p> <p>初めての試みだったが、金融機関、市民団体、これから何かを始めたい個人など多様な方々が集まった会となった。後半は団体の悩みを寄ってたかって応援する場で、貢献する喜びを感じた。</p>   <p>② 第2回 11月24日@ホテル本陣（参加者：10人）</p>

【第一部】ワールドカフェ形式の参加者の課題共有

【第二部】組織課題を寄ってたかって知恵を出す！

まな板の鯉役：きらりコーポレーション 塚本薫さま

アドバイザー：内山隆さん（元天草市中小起業センター長）

各個人の抱える課題を語り合い、違った意見や視点を交換した一部では、つながる大切さを実感でした。また、二部の塚本さんの事業の悩みについては参加者のみならず、北海道からオンラインでのアドバイスを頂き、相互に支え合う関係づくりにも繋がった。



③ 第3回 12月22日@ホテル本陣 （参加者：10人）

【第一部】「妄想をカタチにするために」

スピーカー：日本政策金融公庫 熊本創業支援センター 金子 尚弘氏

【第二部】 組織課題解決ワークショップ「社会課題解決にデザインのチカラを

（一般社団法人 BRIDGE KUMAMOTO 代表理事 佐藤かつあきさん）

ソーシャルビジネス支援を行なっている、日本政策金融公庫の仕組みを説明。対象分野が限られるのが残念だった。第二部では人吉の水害で大量に流れ着いた流木の利活用方法ということでアイデアを出し合い、とても思いつかない様々な発想に佐藤さんも驚いていた。これが商品化などにつながることを願う。



◆ 令和3年度 熊本県「女性寄り添い支援事業」（10月～2月末）（延べ参加者：）

（熊本子ども女性支援ネット(KCW)受託、ゆずり葉業務委託）

- ① 熊本県内 4ヶ所での女性による女性のための相談会 Women's Café開催（来場者総数435人）
- ② ソーシャルリソースプロジェクト 女性支援団体【6団体】に助成金、伴走支援
- ③ 相談窓口カード作成、生理用品と共に配布

* 詳細は熊本子ども女性支援ネットHP、報告書参照



今までの活動を通じた対話を重視し、女性をエンパワメントする貴重な場となった。改めて、多くの女性がコロナ禍の影響を受けながら、我慢しながら暮らしており、日常的に気軽に相談できる関係性、話を聞いてもらえる場所の必要性を強く感じた。複数の参加者から「次はいつですか？」と聞かれ、単発の相談会だけではなく、継続的な小さな相談会のニーズを知りました。本事業は令和3年度のみとなり、令和4年度は継続されなかったため、非常に心残りです。しかし、自分たちなりにできることをやっという意志も固まりました。

◆ 和の国 発酵アカデミー 第一期（4月～7月）のべ約50名参加

日本の伝統文化である発酵食の魅力をより広く、そして気軽に知っていただこうと、福岡より永野懐先生をお招きしてD_warehouseとのコラボ企画。毎回、なつき先生の生き方や、発酵食への想いが溢れ、季節感のあるお料理やスイーツで身も心も健康に、幸せになる時間。参加者の満足度が非常に高かった。好評につき、2022年10月～第二期（10～1月）の開催が決定した。



◆ 内山節講演会「コロナ禍に失ったもの、見えてきたもの」

2022年1月22日オンライン（参加者：33名）

これからの生き方
働き方
いのちのあり方とは

第10回
哲学者
内山節
TAKASHI UCHIYAMA
講演会

2022年1月22日（土）
14：00～16：30（13：30開場）

東部交流センター
熊本市東区戸島町2588（東部環道工機庫）
大人 2000円 学生 1000円
*オンライン参加は、1500円
主催：内山節講演会実行委員会
（事務局：一般社団法人ふりそり堂）

第10回となる、内山節講演会。今年もコロナの状況を鑑みオンライン開催。半年以上前からオンラインでの実行委員会を重ね、勉強会や意見交換をしながら開催したこの日。前回に引き続き、深い学びと気づきにつながった。熊日新聞の編集局長の参加があり、後日、誌面でも紹介された。講演録制作については、保留となっている。

◆ ABD 読書会「分かり合えないを超える」

2022年1月29日@ジョアン（参加者 6名）

ABD（アクティブ・ブック・ダイアログ）インストラクターの半田志野さんを講師に開催。深いシェアにつながり、後半の対話で深まっていった。

SPEAK PEACE
IN A WORLD OF CONFLICT
WHAT IS
COMMUNICATION? NVC

「わかりあえない」を超える

対話への勇気がわいてくる。

「どちらが正しいか」の先へ——
世界各地の個人・組織・社会に広がる新しいアプローチ「NVC」
その実践のエッセンスを、豊富な事例とともに読みます。

南士の風

2 ま
ち
づ
く
り
事
業

■ 令和3年度 熊本県地域課題解決プロデューサー人材活用事業

令和2年度の継続事業として募集があり、申請したが不採択。
(熊本日日新聞社が受託)

■ いちょうの樹プロジェクト (玉名)

理事の土森さんの畑(玉名市)をゆずり葉で利活用できないかという相談を受け、2021年4月から話し合い(5回)や現地視察、草刈り作業(3回)等を重ねてきた。

大きなイチョウの木の生い茂る神社の隣で、多様な人が集まり、農業体験やワークショップなどができる、集いの場にゆずり葉の事業としてできないか検討を進めた。しかし、プロジェクトを動かす人的、資金的な不足と共に、アクセス道や現地でのニーズを考えると、現時点で遂行していくことは難しいと判断した。しかし、これからの農的な暮らしのたいけん・提案のできる場所としてちゃぶ台や空き家との連携には可能性を抱いている。



■ 美里町 山菜収穫体験会 2022年4月7日 (協力:こっかるプロジェクト)

山菜をはじめとした山の恵み、山の暮らしの豊かさを広めようと活動しているこっかるプロジェクトの皆さんの協力の元、熊本市内の親子7組、総勢22名で山菜収穫、調理、昼食交流会を行った。子どもたちがパクパクと美味しそうに山菜を食べており、こっかるプロジェクトの皆さんも外部の人の反応の良さに驚いていました。現地の受け入れ態勢等の課題もありますが、体験しながら改善し、今回のように美里町の豊かさをつなげるきっかけづくりを作りたいと思います。



■ 味わいある、小さきものの集まるコミュニティ～コンペイトウズ

松下生活研究所に間借りしている事務所の撤去の話が上がり、ゆずり葉での利活用を検討。シェアオフィス、ワークショップ等のスペース貸し等により、女性等のエンパワメントにつながるコミュニティづくりをおこなっていきます。コロナ禍で人との繋がり、自然とのつながりの大切さを再認識した今、この関係性を紡ぎ直していく場づくりを行い、その中で流通するお金こそが温かいお金だと考え、良い関係性（自分自身とも他者、地域、地球環境）を育む活動を応援していきます。



3 温かいお金事業

1) ソーシャルファンディング/プロジェクトの企画立案、実行
グローバルクラウドファンディングとの連携、伴走支援サービスを実施

■2021年6月1日～2021年8月31日(募集期間)

みんなが安心して食べられる・おむすびプロジェクト
～人吉・西瀬 農のコミュニティの復興へ～

【寄付】みんなが安心して食べられる・おむすびプロジェクト
～人吉・西瀬 農のコミュニティの復興へ～



集まっている金額

1,326,000円 現在
45%

目標金額 3,000,000円

残り日数 0日

参加人数 120人

オーナー 西 弘敬(おむすびプロジェクト実行委員会)

[いいね!](#)
[シェアする](#)
[ツイート](#)

目標金額が高く伸びもゆっくりだったが、これだけの支援者・金額が集まったのも多くの方とのつながりが生まれたから。復興には非常に時間がかかるので、プロジェクトが終了しても引き続き譲り葉としてできることを行いたい。災害のプロジェクトは時間による風化が大きいことも認識。

*** 関連活動**

【2021. 8. 29 人吉・南稜高校生 畑の復興ボランティア (参加者約30名)】

クラファン支援者であり、西さんの同級生でもある青山恵さんのコーディネートで実現。畑に埋まった大量のゴミを人力で取り除く作業。炎天下で熱中症に気をつけながら行い、トラック2台分に近いゴミが除去され、植え付けに間に合うようになった。人吉の高校生も現場の作業と西さんの講和から災害、自然栽培、地球環境のことなどを学ぶ機会となった。



【2021. 10. 17 クラファンお返し稲刈り体験会 (参加者 11名)】

無事に育った稲刈り体験会を行った。手刈りと機械狩り、かけ干しを体験。その後、畑や西さんの自宅などを見学し、水害の被害の大きさを体感。参加者は「子どもたちに農業体験をさせたかった。」 「水害の復興支援をしたかった」と話されていて、現地に来ないとわからないことを感じてもらい、価値のある時間になった。特に子どもたちの体験が未来につながるよう、活動を続けていきたい。



【2021. 11. 7 クラファンお返し収穫体験会 (参加者 10名)】

晴天に恵まれ、水害で被災した畑の見学、被災を免れた他の畑での里芋収穫体験、お昼ご飯は新米の食べ比べ、豚汁、掘り立て里芋試食でした。里芋の収穫体験は大人も子供も夢中になっていました。安心・安全な美味しい食と共に、語り合う豊かな時間となりました。



【2022. 2. 10 NHK くまろく 特集番組「被災地からの声」】



■ 募集期間：2022年5月4日～2022年6月30日
 こどもとおもちゃのフラットソース プロジェクト 成立

[GLOCAL CROWD FUNDING](#)
[ファンド](#)
[プロジェクト](#)
[ストア](#)
[カート](#)
[Q&A](#)

[資金調達のご相談](#)
[ログイン](#) | [新規登録](#)

子どもの魅力が発見できるフラットな居場所を熊本に作りたい！！
 グッドトイとコミュニケーションを真ん中に

集まっている金額

1,281,000円 現在 129%

目標金額 1,000,000円

残り日数 0日

参加人数 173人

オーナー こどもとおもちゃのフラットソース

[いいね!](#)
[シェアする](#)
[ツイート](#)

昨年から長い時間をかけて伴走支援を行い、クラファン準備を進めた。フラットソースがどのような場所かを周りにも伝えながら、言葉を紡いでいった。公開になるや否や、実行者の橋下さんの今までのネットワークを活かして、最速で目標金額に達成することができた。

● **温かいお金お話し会（10月～）**

温かいお金の具体的で、現実的な事例を取り上げ、お金についてざっくばらんにお話しする会をオンラインで開催。

- # 1 アメリカ「増えるコープ協同組合」(10月8日)
- # 2 イギリス「チャリティバンク」(11月8日)
- # 3 カナダ「ダイバーシティ・フードサービス」(12月8日)
- # 4 「自分でも気づかなかったお金への思い込み」(1月8日)
- # 5 「自然や人とつながりのある温かい社会へむけて」(4月8日)
- # 6 「私のお金と戦争と平和」(5月8日)
- # 7 「気候変動と温かいお金」(6月8日)

参加者からは、普段考えなかったことが学べる。自分のお金が社会につながっていることがわかったなど、感想をいただき、今後もテーマを厳選しながらコツコツ開催していきたい。



◆ **価値を大切にする金融実践者の会（JPBV）リーダーシップ講座**

2021年4月より毎月開催されているリーダーシップ講座 SHIFT（シフト）。対話を重視したプログラムとなっており、金融業界の知識というより、自己変革から社会を変えるという立ち位置での内容である。全国の金融機関、金融庁、これからの金融を考える方々とのネットワークを広げている。良好な信頼関係から、2022年4月からは運営事務局のサポーターとして参加し、ここでの学びやつながりをゆずり葉での共有や事業へ繋げたい。